

### 平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	インクルーシブ社会実現のための映画「風は生きよという」の上映シンポジウムの開催
事業主体 (連絡先)	風をみる会 (松本市県 1-16-5 増田龍美)
事業区分	保健、医療、福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	634,918 円 (うち支援金: 440,000 円)

#### 事業内容

映画「風は生きよという」の上映とシンポジウム

- 開催日時 29年10月15日 (日)  
 会場 キッセイ文化ホール  
 講師 海老原宏美  
 (NPO法人自立生活センター東大和理事長)  
 宍戸大裕 (映画監督)  
 北村千章 (新潟県立看護大学)  
 パネリスト海老原 けえ子 (海老原宏美・母)  
 小林由香 (重度障がい児の母)  
 コーディネーター 塩崎暁子  
 (長野こども病院チャイルドライフスペシャリスト)

参加者 184名 (うち障がい者と介助者33名)

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 昨年に引き続きの開催であったが、地域で障がいのあるお子さんを育てるお母さんや学校、医療の関係者も多く参加されて、まさに広がりや深まりを感じた
- ② 福祉を志す学生さんがボランティアで多く参加され、これからのインクルーシブ社会実現にとって、自分たちの果たす役割について学ぶことができた。
- ③ 昨年以上に現場で頑張る当事者や支援者、関係者の方の取り組みがよくわかり、これからの課題も見えた開催となった。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

地域につながるの作りにくい障がい者、障がい児の家族にとって、このような取り組みの果たす意味はおおきいが、担い手がなかなか育っていかないもどかしさもある。今回かかわった学生さんなど、世代・地域を超えてつながりをつくっていききたい。来年は上田市で開催していきたいという声も上がっている。



(活動写真)

#### 【シンポジウムの様子】

呼吸器をつけた小学生とそのお友達も参加してくれました。小林詩さんの学校生活も紹介されました。

#### 【目標・ねらい】

- ① 地域で暮らす障がい者の生活や支援についての実情や共に生きる意味を学ぶ
- ② 共に支え合って生きる地域づくりのためにさらに点と点をつなげていく。

#### ※自己評価【A】

##### 【理由】

昨年の入場者を下回ったものの、北信地域からの参加者が多く、地域を超えた広がりを感じた。また学校、医療、地域、福祉の現場とそれぞれの立場を超えたつながりをつくることができた。

(別記様式第12号) (第3の8関係)

